

SAMPLE サンプル 試読

人質交換ゲーム

S
M
小説

あんぶらぐ

荒縄工房

ツムギ カツヒコ タキオ ミヤビ

ターン 期待 勝負 苛酷 撮影会
卒業 捜し物 苦悶 反抗 拷問
壊れる リン子 極限 処刑 終焉

SAMPLE サンプル 試読

SAMPLE サンプル 試読

S
M
小説

人質交換ゲーム

めんぷらぐ著

元縄工房・発行



本作品はすべてフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません。また、特定の個人、団体、宗教、人種、性別などを誹謗中傷するものではありません。

あんぷらぐ

S M雑誌に「仲ゆうじ」名でS M小説を執筆して作家活動をスタートした後、編集の仕事に携わる。九〇年代よりネットで複数のペンネームで小説の筆。二〇一一年「荒縄工房」より「あんぷらぐど」名義で独自の自虐的S M小説、伝奇S M小説などを発表。二〇一九年「あんぷらぐ」に改名。東京在住。

SAMPLE サンプル 試読

目次

	SAMPLE サンプル 試読									ター
壊れる	巧問	反抗	白悶	技し物	干業	撮影会	可酷	勝負	初待	ン
	3	3	2		2		1	9	4	
3	3	0	8	2	3	1	4	4	7	6
5	2	9	8	5	0	8	8			
3				1		7				

奥付	終焉	処刑	極限	リンチ
5	5	4	4	
6	1	5	2	3
0	6	5	1	8
				0

SAMPLE サンプル 試読

SAMPLE サンプル 試読

その日、わたしのおみくじは大凶で、死神と苦手な
同生類系の男に出会い、地獄に向かって進むことにな
りました……。

「妹のツムギです」

兄が紹介してくれたので、わたしは、

「よろしくお願いします」

とあえて明るくハキハキと挨拶しました。

余計なことを言う、と兄の顔に出ています。

「いいですね」

右に審判のように座っている不気味なオジサンが微笑みました。ですが、正面に座っているわたしたちと同世代の兄と妹の表情は硬いままです。

なにしろ、わたしと正面の座っている女の子は、お互いの兄によって、なにをされても文句を言っではないからです。言ったら負け確定です。

女子はわたしも彼女も、申し合わせたように、タートルネックのセーターにミニスカート、ニーハイ、ピンヒールです。彼女は淡いピンクのセーターに茶色のミニスカ、白いニーハイ、白いヒール。わたしは、ベージュのセーターに青いミニスカート。紺のニーハイ黒いヒール。彼女はいろいろある中から選んだのかも

SAMPLE サンプル 試読

しれませんが、わたしはこの服しかないのです、人前に出られるようなちゃんとした服は。

ヒールはバイトしたおカネでなんとか買いました。

戦闘員は動きやすいスニーカー、人質は走りにくいヒールという決まりがあります。

男たちはジーンズ。兄は黒いトレーナー。やっぱりしれしかないのです。相手の男は、青に白いラインの入ったジャージの上。その下は白いTシャツ。

「ぼくはカツヒコです」と兄は名乗りました。美少女を前にして興奮しているのがわかります。

「タキオです」と兄の前に座っているジャージ男がねつとりした声で言いました。

兄と同じぐらいの年齢の若い人。成人していなければ参加できないので、きつと資格を得て間もないのです。

「妹のミヤビです」と彼は横にいる少女を紹介しました。

清楚です。髪を背中に長く垂らしています。あなたに長いと邪魔だろうに。わたしはこのために、肩に届くぐらいに切っています。自分で切ったのですが。

睫毛を伏せて、こちらを正視できません。この子をわたしの兄が……。

そしてわたしはタキオに……。

わたしもタキオを正視できません。兄と違い、がつ

SAMPLE サンプル 試読

ちりとした体格で大きくて、肩も盛り上がっていて、その大きな手でぶたれたら……。

「人質交換ゲームを取り仕切るアシスタントのウダガです」

えび茶色とでも言うのでしようか。恐らく貰ってもほとんどの人は着ないだろう妙なチェツクのジャケツを着ています。年齢はわたしの父と比べても老けてるので四十以下のはずはなく、では何歳かと言われると五十かもしれないし七十かも知れません。痩せこけて、皮膚は焼け焦げだコツペパンのように黒く皺だらけ。それでいて油を流したように照り輝いています。頬から顎まで短いヒゲがつながっています。そのほ

とんどは白いのです。

ヒゲは白いのに髪の毛はウソのように黒々として、オールバックです。生え際を見てもカツラではなさそう。怪しいけれども。

ハロウィン・パーティーでそのまま死神役ができそうな雰囲気です。魂を吸い取られそうです。わたしのクラスメイトたちなら全員が「キヤー」と叫んで逃げるでしょう。

「君たち、このあたりは初めてかな？」

ウダガワの言葉にわたしたちはみなうなずきました。わたしも、浅草に来たのは初めてです。これから大変なことになるというのに、テレビでよく見る外国か

SAMPLE サンプル 試読

SAMPLE サンプル 試読

らの観光客でいっぱいの雷門を通って、同世代の修学旅行生たちと仲見世を抜けて、恐れ多いことですけど参りもしてきたら、少しウキウキしていたのです。

「末吉だつてさ」

兄はおみくじを引いて、少し不安そうに笑いました。

「ツムギも引いてみるよ」

「やめとく」

「引いてやるよ」

「やめて」

でも兄は強引にカラカラを金属の箱を振って竹の棒を出して、そこに書かれた番号と同じ引き出しからおみくじを一枚、抜き取りました。

「やったね」

「え？」

大凶……。

「気にするな」

勝手な兄です。

浅草にドンキがあるのは知りませんでした。は
う新しいビルやホテルもあって、古い建物ばかり
ないのです。

定休日らしくひっそりとした遊園地の裏を抜
い通りに出ました。

そこからはスマホの地図を見て歩く兄のあとをた
追うだけです。

SAMPLE サンプル 試読

は こ
広

やがて、古ぼけた喫茶店に辿り着きました。店名が赤いテント地の軒先に書かれていたようですが、部分ほとんど褪せてしまい、文字も剥がれて読めなくなっていました。アロエの鉢植えが入り口に飾られています。不気味なほどの生命力で、四方八方に広がっています。

店内に入ると、恐ろしいオジサン、ウダガワが待っていたのです。

「ようこそ、ゲームの世界へ」
不気味なこの人だけだったなら、きつと逃げ出すでしょう。

この数日、悩みながらも覚悟したのです。でも、ウ

SAMPLE サンプル 試読

ダガワは不気味すぎる。とてもできない。ムリな気がしてきました。

それでも、わたしたちによく似た二人がすでにのど、そこにいるミヤビさんの美しさに魅せられ、うに、席についていました。

「すてきなゲームになりますな」とウダガワは、て付けたようなほがらかさ。

「若い人質はそれだけでギヤラリーが期待するのイントも高くなるんですよ」

ヒツヒツと空気が漏れるような笑い。

「では、お互いに身分証明書を交換して確認してください」

SAMPLE サンプル 試読

ポ つ よ た

奥付

お読みいただき、ありがとうございました。

二〇二四年二月刊行 第一版

著作権 あんぷらぐ（あんぷらぐど）（荒縄工房）

荒縄工房の情報は下記サイトへ

●ブログ「荒縄工房」

●ホームページ

●荒縄工房 SM研究室

●今日も上機嫌ってわけないだろ

コメント、メッセージ歓迎。ご意見、ご感想、ご提案など随時、ブログで受付

SAMPLE サンプル 試読